

ハッピー通信



2025 年 3 月 4 日発行
25-10 号

現場から（最近のニュースから）

人の評価ではなく



昨年にデビュー50周年を迎えた3人組バンド、THE ALFEEですが、全員70歳とは思えぬ姿で、いままも全国ツアーを続けていて、根強いファンが多くいます。年末にあった紅白歌合戦に41年ぶりに出場したことから、昔からのファンだけではなく、若い世代のファンが新しく加わったと言われています。そこで、3人を招いて、子ども時代のことやバンド結成のこと、ブレイクするまでの苦節10年のことなどを聞く番組がありました。

三人とも70歳とは思えない若い姿で、小学校の頃からのことを楽しく語っていました。子どもの頃から音楽的には優れていたそうで、そのあと高校のときにバンドを組み始めたとか、大学のことなども語っていました。プロになってレコードを出したのにまったく売れなかった時期があったそうです。そのときは、電気もガスも止められたので、水を飲んでいただけれど、水も少しずつしか出ないのでホースをくわえて飲んでいただけなど、おもしろく苦勞を語っていました。やっと「メリーアン」という曲がヒットして、そのあとは変わったそうです。その苦勞時代とヒットした後の違いについて質問されて語ったのは、人の目が変わったということです。

曲を書いていたのは、3人のうちのひとり高見沢さんですが、売れないので、とにかく様々な曲を書きまくっていたそうです。「いろんな曲を作って全部ヒットしない。ボサノバからタンゴからフォークからロックまで全部作ったんですよ。なぜ売れないのか、お前らはバラバラな音楽性だからって言われたんですよ。それが『メリーアン』で売れると幅広い音楽性なんですよ。これはちょっとプチッとキレましたよ」と手のひら返しの評価に怒ったということです。「バラバラな音楽性だから売れない」と言われていたのが「幅広い音楽性だ」と言われるようになったそうです。そのあと、その曲だけではダメと言われて書いた次の曲「星空のディスタンス」が売れて、いまに至るということでした。（2月15日サンスポ＜THE ALFEE、ブレイクまで苦節10年 手のひら返しの評価に「ちょっとプチッとキレましたよ」>より）

売れること、つまり大勢が認めることが良いことになっているので、人々が認めないならすべてがダメで、いったん認められるなら良いことになるというのは、音楽の世界だけではないでしょう。人の目を気にするということとはよく言われますが、だいたい「人の評価」がどうかということで、動いていることが多いです。しかし、人というのは、「手のひら返し」と言われるように、くると変わってしまいます。そのような人の評価を基準にしていたら、いずれは消え去るしかないでしょう。人は変わります。また、人はいつかはいなくなります。変わったり消えたりすることを基準にせず、絶対に変わらず、永遠に残ることを基準にするなら、心も考えも安定して本当に必要なことのために生きて行くことができるでしょう。いっしょに永遠のことについて見てみませんか。



救いの道

だれでも幸せになって、うまくいきたいのに、なぜ人生がこんなにも苦しくてつらいのでしょうか。

予期せぬ事故にあい、やることなすこと、すべてうまくいかず、会社ではやりがいどころか、仕事と人に疲れるばかりです。学校は、もはやいじめの天国になりつつあります。家庭内は冷たい風が吹き、一つ屋根の下でばらばらになり、実際に崩壊しているところも少なくありません。そのうち体は病気になる、心も病んでしまい、眠れない夜が続きます。お酒や薬に頼り、ギャンブルや快楽に走ってみても答えはありません。わらにもすがる思いで占いをし、おふだやお守りをつけてみますが、解けそうにもなく、どんどんひどくなるだけです。

ときには、表では他人がうらやむほどの成功をおさめたのに、裏は穴が開いてもれていくし、隠れた問題でなげき、ため息をつきながら人生のむなしさを感じています。胸にはぽっかりと穴が開いて、埋められません。とても憂うつになって、時々、自殺の衝動にかられます。幻聴や幻覚に悩まされるときもあります。

なぜこうなったのでしょうか。



それは、人が神様を離れているからです。魚が水を離れ、木は土から根を放り出すと枯れて苦しみ死んでいきます。人は神様に会って神様とともにいるべきたましいを持つ存在です(創世記1:27)。ですから、神様と出会う時、すべての問題が解決され、新しい人生が始まります。しかし、人は罪を犯して神様を離れてしまい、二度と神様に会うことができなくなりました。そのときから、目には見えない暗やみの力が、人を運命の力に閉じ込めて、苦しめて滅ぼしているのです。それで、どんなに暴れても抜け出すことができません。どんどん疲れはてて倒れるだけなのです。



神様は苦しみの中にいる人を愛し、この運命の泥沼から抜け出して、神様に会うことができる道を開いてくださいました。その道がイエス・キリストです。イエス・キリストが罪人の私たちの身代わりとなって、十字架を背負い、すべての罪を赦してください(ローマ5:8)、私たちを苦しめていた暗やみと呪いの勢力を完全に打ち砕いて勝利なさいました(1ヨハネ3:8)。そして言われます。「わたしは道であり真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれ一人として神に会うことはできません」(ヨハネ14:6)イエス・キリストは神様に会う道となりました。「疲れて重荷を負っている人はわたしのところへ来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」(マタイ11:28)と私たちを招いておられます。



もうこれ以上、苦しみの人生にとどまっている理由はありません。道であるイエス・キリストを信じることで、神様に会うことができます。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしのこばを聞いて、わたしを遣わした方を信じる者は、永遠のいのちを持ち、さばきに会うことがなく、死からいのちに移っているのです」「この方を受け入れた人々、すなわち、その名を信じた人々には、神の子どもとされる特権をお与えになった」だれでもイエス・キリストを救い主として信じ、心に迎え入れれば救われます。下の「受け入れのお祈り」を通してイエス・キリストを心に迎えることができます。

「愛の神様、神様の驚くべき愛と、救いの計画を感謝します。今、私は罪人であることを認めて、悔い改めます。私の心の扉を開いて、今、イエス・キリストを私の救い主、私の神様として受け入れます。私の罪を赦してください、私を救ってくださいましたことを感謝いたします。これからは、神様のみこころに従って生きる者にしてください。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン」